

醍醐寺 靈宝館

木造虚空蔵菩薩立像 国宝指定記念

春期特別展

平成
28年

3月
19日

土

—
5月
8日

日



休館日 4月 23日 (土)

開館時間 午前9時～午後5時 (入館は30分前まで)



總本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町 22

TEL.075-571-0002 <https://www.daigoji.or.jp/>

※記載の内容が変更になる場合や臨時休館もございます。あらかじめご了承ください。



菩提寺虚空蔵菩薩像版木
江戸時代

木造虚空蔵菩薩立像 国宝指定記念 春期特別展



平成 27 年（2015）、醍醐寺所蔵の重要文化財「聖観音菩薩立像」が、近年の調査と研究で尊名と伝来が判明し、あらたに「虚空蔵菩薩立像」として国宝指定されました。この像は、正しい尊名や伝来は不明ながら、明治 42 年（1909）に重要文化財として指定され、以後長らく、醍醐寺の聖観音像として知られてきました。

近年の調査で、当寺に伝来する江戸時代の版木の中から、この聖観音菩薩立像によく似た姿が刻まれているものが発見されました。版木には「虚空蔵菩薩」、「醍醐」、「菩提寺」等の文字も刻まれ、史料も含め検証したところ、今日「醍醐寺の聖観音像」として知られる像が、江戸時代には「菩提寺の虚空蔵菩薩像」であったことが分かり、その伝来と尊名が明らかになりました。

本特別展では、国宝指定を記念して虚空蔵菩薩立像を展示するとともに、伝来を明らかにするきっかけとなった版木や史料を公開し、虚空蔵菩薩立像のあらたな魅力をお伝えします。

同時に、春の恒例、豊臣秀吉が催した「醍醐の花見」に関する展示を行います。蒔絵で桐紋をあらわした花見道具の品々や、秀吉から賜った金天目茶碗など、華やかな展示をお楽しみください。



虚空蔵菩薩立像 平安時代



金天目茶碗 桃山時代



角盤 桃山時代

入館料

	三館共通券 三宝院・伽藍・靈宝館	靈宝館のみ
大人	1,500 円	600 円 (400 円)
中高生	750 円	300 円 (200 円)

*小学生以下無料 *（ ）は 30 名以上の団体料金

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は 30 分前まで）

休館日 4 月 23 日（土）

アクセス

京都駅八条口 (ホテル京阪前)	京阪バス山科急行線 (醍醐寺下車)
JR・京阪 六地蔵駅 JR 山科駅 京阪 三条駅	地下鉄東西線 (醍醐駅下車) 2 番出口より徒歩 10 分
JR・京阪 六地蔵駅 JR 山科駅	京阪バス 22 系統 / 22A 系統 (醍醐寺前下車)

※記載の内容が変更になる場合や臨時休館もございます。あらかじめご了承ください。



總本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町 22
TEL. 075-571-0002 <https://www.daigoji.or.jp/>